

平成28年度
優良取組賞

株式会社ホテル京セラ

会社概要

株式会社ホテル京セラは、平成7年に本館が開業、平成13年に別館が開業した。ホテル宿泊のほか、宴会や披露宴でも利用されており、従業員数は約250名前後である。

別館建設時に、県内ホテル業界初となる天然ガスを利用したコージェネレーションシステムを導入しているほか、光触媒の活用、ターボ冷凍機の導入など、地球環境保全のための様々な取組を行っている。

削減実績

C02 排出量削減率 22.8%達成（平成22年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成22年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成23年度～平成27年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

先進的な設備の導入

別館建設時に導入したコージェネレーションシステムにより、天然ガスを利用して発電し、その過程で発生した排熱を暖房や給湯に利用することでエネルギー使用量を削減している。

また、平成19年に導入したターボ冷凍機の導入により、前年度比924t-CO₂の削減が図られたとともに、平成24年度以降、冬期夜間中の稼働停止による運用の見直しに伴い、平成27年度までで約270万円の削減効果を得ている。

空調設備の省エネ

客室・宴会場以外の空調機は集中管理し、季節毎の指標を設けるとともに、時間帯ごとの気温を考慮した計画を作成・プログラムすることで適正な温度を保つようにしている。

また、客室等では変更できる設定温度を制限し過度な使用を抑えている。

照明設備の省エネ

平成23年度に補助金を活用して外灯のLED化を行うとともに、フロント等の点灯時間の長い照明を優先して順次LED化を行っている。本館1階では、計画期間中に約130灯をLED化し、消費電力量を削減した。

また、バックヤードにおいてもスイッチを小分けし、作業時のみ点灯するようにしている。

省エネルギーサポート会社との連携

平成26年度から2年間、省エネルギーサポート業務会社に委託し省エネの提案・支援を受けつつ、暖房用ボイラの夏場の稼働停止など、設備の稼働台数や設定温度の見直し、効率的な運用のための改善等を行ったことにより、エネルギー使用量を更に削減している。

今後は、高効率モジュールチラーをはじめとする設備を計画的に導入・更新するとともに、設備群全体の運用見直しを継続的に行っていく予定である。



LED 照明の導入（1階ロビー）



コージェネレーションシステム



ターボ冷凍機